

令和2年度消防防災科学技術賞

応募要領

消防庁消防研究センター

1. 趣旨

消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学に関する論文及び原因調査に関する事例報告の分野において、優れた業績をあげた等の個人又は団体を消防庁長官が表彰することにより、消防防災科学技術の高度化と消防防災活動の活性化に資することを目的とします。

2. 主催

消防庁

3. 応募

3.1 応募者の区分

応募者の区分は次のとおりとします。

(1) 消防職員・消防団員等の部

消防職員・消防団員等の個人又は団体

(都道府県消防防災主管課、都道府県消防学校等の消防防災に係わる行政機関の職員を含む。)

(2) 一般の部

(1)以外の個人又は団体

消防職員・消防団員等とそれ以外の個人又は団体とが共同で応募する場合は、主たる応募者の所属で区分します。

3.2 作品の区分

作品の区分はそれぞれ次のとおりとします。

消防職員・消防団員等の部	一般の部
A. 消防防災機器等の開発・改良 消防防災活動において活用するために創意工夫された機器等を開発又は改良したもの。	D. 消防防災機器等の開発・改良 消防防災活動において活用するために創意工夫された機器等を開発又は改良したもの。
B. 消防防災科学論文 消防防災活動における問題点を技術的な観点から解決又は考察したもの。	E. 消防防災科学論文 消防防災活動における問題点を技術的な観点から解決又は考察したもの。または、消防防災分野における事項に関して検証や分析を行ったもの。
C. 消防職員における原因調査事例 消防機関において実施された原因調査で、消防防災科学技術の観点から解決又は考察したもの。	

3.3 応募方法

- ・ 応募書類は、別紙「応募書類作成要領」に則って、日本語で作成してください。
- ・ 応募書類は、紙媒体を正本、正本の電子媒体を保存した CD (USB メモリ不可) を副本とし、その両方を送付してください(一個人又は一団体が複数の作品を送付する場合は、それらの副本(電子媒体)を一枚の CD にまとめることが出来ます)。
- ・ 正本(紙媒体)の形式は、片面カラー印刷で、紙面を綴じず、または、クリップ止めで行ってください(糊付け、ステープラー止め等不可)。
- ・ 副本(電子媒体)の形式は、Microsoft Word 形式で行ってください(PDF、DocuWorks 等不可)。
- ・ 正本、副本以外の資料(カタログ、動画等)は、送付されても審査の対象となりません。
- ・ 応募書類の封筒表書き面に「消防防災科学技術賞応募書類在中」と朱書きで明記してください。
- ・ 送付の形式は、郵便書留等、発送記録や受領記録が残る形式で送付してください。
- ・ 封緘する前に、「同封書類チェックリスト」を利用して確認してください。

〈送付先〉

〒182-8508 東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号
消防庁消防研究センター 本館2階 研究企画室

3.4 応募受付期間

令和2年4月1日(水)～4月22日(水) 必着

3.5 応募にあたっての注意事項等

(1) 共通事項

- ・ 過去に本表彰事業に応募されたものと同一の作品は対象外とします。
- ・ 6月頃に、すべての応募作品の「概要」(応募書類3頁)が消防研究センターホームページで公開されます。公開にあたり、本表彰事業への応募をもって今後の公開に同意したものとみなし、改めての意思確認は行いません。
- ・ 応募書類の個人情報等(写真の個人・団体や情報を含む)の取扱いには十分注意してください。
- ・ 必要に応じて、所属組織内で事前の了解を得ることをお薦めします。
- ・ 受理した応募書類の返却や、差替えはできません。
- ・ 応募書類の受理に関する問い合わせはお受けできません。郵便書留等の配達状況が確認できる送付方法を利用してください。

(2) 「消防職員における原因調査事例」の場合

- ・ 係争中の事例は応募できません。
- ・ 本区分の応募は、「消防職員」に限られます。

4. 審査及び評価のポイント

4.1 審査

- ・ 審査は、提出された正本(紙媒体)に基づき行われます。
- ・ 審査は、有識者で構成される選考委員会によって行われます。

- ・ 審査は、応募者の氏名や所属等を伏せずに行われます。

4.2 評価のポイント

応募作品の審査にあたっては、消防活動に関わる現場の視点を重視します。

(1)「消防防災機器等の開発・改良」の場合

技術的な創意・工夫を有するもの、安全性が担保されているもの、傷病者などに不利益を与えないもの、普及を推奨できるもので、今後の消防防災活動において活用が見込まれるもの。

(2)「消防防災科学論文」の場合

技術的な創意・工夫を有するもの、先見性を有するもの、適切な検証がなされているもので、今後の消防防災の分野において応用・発展が見込まれるもの。

(論文の例)

- ・ 燃烧現象等に関する新たな学術的知見、及びそれをベースにした検証
- ・ アンケート等に基づく実態調査・考察
- ・ 事故予防・被害軽減の具体的な手法
- ・ 検証に基づく地域防災活動の有り方

(3)「消防職員における原因調査事例」の場合

調査の過程が科学的根拠に基づいたもので、今後の原因調査の高度化や予防対策への寄与等、波及効果が期待されるもの。

5. 表彰

5.1 表彰者の決定・公表

表彰者は、9月頃に決定・公表される予定です。なお、応募者には結果を通知します。

5.2 表彰の件数

表彰の件数は次のとおりです。

優秀賞		
消防職員・消防団員等の部における消防防災機器等の開発・改良		5件以内
消防職員・消防団員等の部における消防防災科学論文		5件以内
消防職員における原因調査事例		10件以内
一般の部における消防防災機器等の開発・改良		5件以内
一般の部における消防防災科学論文		5件以内
奨励賞		
消防防災機器等の開発・改良、消防防災科学論文 及び 原因調査事例		3件以内

5.3 表彰式

表彰者には、11月に行われる表彰式(東京都内)において、消防庁長官より表彰状及び副賞を授与します。

5.4 受賞した表彰作品の発表及び掲載等

- ・ 受賞した表彰作品は、表彰式と同時開催の全国消防技術者会議(東京都内)において、口頭発表、又は展示発表を行うこととなります。
- ・ 受賞した表彰作品は、「本文」(応募書類 4 頁～)が全国消防技術者会議資料に掲載されるとともに、報道発表や広報媒体、ホームページ等で公開されます。
- ・ 公表にあたり、本表彰事業への応募をもって今後の公開に同意したものとみなし、改めての意思確認は行いません。

6. 個人情報の取扱い

応募書類に含まれる個人情報については、作品の審査、表彰作品の発表及び事務局からの連絡業務においてのみ利用し、応募者本人の同意がある場合を除き、主催者以外の第三者に提供・開示することはありません。

7. 問合せ先

その他、ご不明な点がございましたら、次の連絡先までお問い合わせください。

消防庁消防研究センター 研究企画室

〒182-8508 東京都調布市深大寺東町 4 丁目 35 番 3 号

電 話 : 0422-44-8331(代表)

F A X : 0422-42-7719(代表)

メールアドレス : hyosho2020@fri.go.jp

8. 参考

消防研究センターホームページ: <http://nrifd.fdma.go.jp/>

消防防災科学技術賞: http://nrifd.fdma.go.jp/exchange_collaborate/hyosho/index.html

応募書類作成要領

- ❖ 本要領に適合しない場合、審査出来ないことがあります。
- ❖ 以下の内容を熟読の上、要領に沿って作成してください。
- ❖ 応募様式は、消防研究センターホームページ(URL: <http://nrifd.fdma.go.jp/>)からダウンロードしてください。
- ❖ 令和2年度のお募様式には、紙面左上に（R2）が表示されています。

- 応募書類は、1.表紙、2.概要、3.本文 で構成されるものとする。
- A4判(縦長)用紙 片面 に 横書き、余白は天地各 23 ミリ、左右各 25 ミリ とする。
- 通しのページ番号(現在のページ数/全ページ数)を右下に記すこと。

1. 表紙（必須 様式は区分ごとに異なる）

以下の項目について記入すること。

- (1) 応募者の区分(消防職員等・一般の別を明記)
- (2) 作品名
- (3) 応募者
 - (i) 個人の場合
 - ・ 所属、氏名には、フリガナ(全角カタカナ)を記入すること。
 - ・ 複数名で応募する場合、応募者は6名以内とし、主たる応募者を最初に書くこと。
 - (ii) 団体の場合
 - ・ 団体名には、フリガナ(全角カタカナ)を記入すること。
- (4) 他の公募等への応募状況

応募者(連名を含む)が、応募内容と関連した内容で、学会発表、投稿、他の表彰への応募又は受賞がある場合は、記入欄にその旨記入するとともに、その原稿等の書類を添付すること。
- (5) 連絡担当先(勤務先・自宅の別を記入)

連絡担当者氏名、所属、住所、電話番号、Fax 番号、E-mail アドレスを記入すること。

2. 概要（必須 様式は区分ごとに異なる）

- ・ 1 ページとする。
- ・ 日本語で作成すること。
- ・ 区分に応じて求められている事項を記入すること。

区分の共通項目 次について記入すること。

- (1) 作品名
- (2) 主たる応募者
- (3) 要旨と公開用の図、表、写真

要旨は 280 字以内で記入すること。

公開用の写真等は、「本文」の中から適したものを選び、電子データ(タテ 3cm、ヨコ 3cm)で貼り付けること(糊付け不可)。

消防防災機器等の開発・改良 次について記入すること。

- (1) 「開発」もしくは「改良」の区分
- (2) 機器の利用分野
- (3) 先行する開発・改良との相違(ある場合のみ)

これまでの表彰作品事例などを確認すること。(例 消防庁 HP、一般財団法人全国消防協会 HP)

消防防災科学論文 次について記入すること。

- (1) 先行する研究との相違(ある場合のみ)

これまでの表彰作品事例などを確認すること。(例 消防庁 HP、一般財団法人全国消防協会 HP)

消防職員における原因調査事例 次について記入すること。

- (1) 調査を行った機関(協力した機関も含む)

3. 本文 (必須 様式は各区分で共通)

- ・ 16 ページ以内で作成すること(参考文献は含めない)。
- ・ 日本語で作成すること。
- ・ フォントはMS明朝、フォントサイズは11とし、38字/行、35行/ページ、英数字はすべて半角を使用すること。また、環境依存文字(機種依存文字)は編集の際に文字化けするため使用しないこと。
- ・ 最初に作品名を書くこと。
- ・ 見出しの付け方は、章「1. ○○○○○○」、節「1.1 ○○○○○○」とすること。
- ・ 参考文献がある場合は、本文末尾に記載すること。

図、表、写真

- ・ 「消防防災機器等の開発・改良」は、図若しくは写真のいずれかを**必須**とし、「消防防災科学論文」及び「消防職員における原因調査事例」は、図、表、写真を任意とする。
- ・ 図、表、写真の位置は左右中央に配置し、連番を振ること。連番、題名、キャプション(簡潔な説明文)は、図、写真の下左右中央に、また、表の上左右中央に記入すること。
- ・ 写真に文字や矢印などの注釈を入れ込む場合は、その写真全体をグループ化し(編集の際に図の注釈が欠落しないようにするため)、モノクロ印刷しても見えやすい色に調整すること。
- ・ グラフ、データ、写真等を別資料から転載した場合は、必ず出典を明記し、掲載許可を得ること。

4. その他の注意事項

- ・ 「概要」及び「本文」は公開されるため、個人情報等の取扱いには十分注意すること。
- ・ 本要領に定められていない媒体(動画、カタログ、機器の実物等)は審査対象外とする。